

# 第11回 化学遺産 市民公開 講座

スクアレン、蚊取り線香、化粧品など

平成29年3月18日(土)

13:30~17:00

会場: 慶應義塾大学日吉キャンパス  
第4校舎B棟1階J11教室

神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1、日本化学会第97春季年会 S1会場

**参加費: 無料** 当日参加可。事前登録は下記お問い合わせまで。

化学遺産委員会では、平成21年度から化学関連の学術あるいは化学技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し、これまで7回38件をそれぞれ認定・顕彰してきました。平成28年度も同様に広く公募し、調査・検証作業をした結果、新たに5件が認定されました。今回の市民公開講座では認定された5件について専門家が分かりやすく講演します。「身近な化学」の歴史についてこの機会にぜひご聴講ください。



## 【プログラム】

総司会 (名古屋産業振興公社 産学連携コーディネータ) 亀山 哲也

13:30-13:40

開会挨拶

(日本化学会化学遺産委員会 委員長/京都大学名誉教授) 植村 榮

13:40-14:15

辻本満丸博士の先駆的偉業

—魚油や肝油が日本の産業を支えた時代の世界的な油脂化学者—

(産業技術総合研究所 イノベーション推進本部) 山岡 正和

14:15-14:50

低温技術の進歩と日本の酸素工業の発祥・発展

—認定化学遺産『日本の酸素工業の発祥と発展を示す資料』に学ぶ—

(量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所) 新井 和孝

14:50-15:25

除虫菊との出会いから“夏の風物詩”蚊取り線香の発明と殺虫剤産業の発展へ

(大日本除虫菊株式会社 中央研究所 顧問) 南手 良裕

15:25-15:40 休憩

15:40-16:15

近代化粧品工業を築いた明治の企業家たち (日本化学会フェロー) 田島 慶三

16:15-16:50

天然ガスかん水を原料とするヨウ素の工業生産

(株式会社合同資源 技術顧問) 海宝 龍夫

16:50-17:00

閉会挨拶

(名古屋産業振興公社 産学連携コーディネータ) 亀山 哲也

[お問い合わせ]

日本化学会 企画部 河瀬/飛渡

TEL: 03-3292-6163 Email: chemarch@chemistry.or.jp

主催: 日本化学会化学遺産委員会・化学史学会 共催: 日本化学工業協会